

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
17・1・28(土)
南NEWS NO102

少ない人数でもGAMBAったね！！ 新春フットサル大会（少女Bの部）

1月22日（日）元八センター

○目当て 相手ボールの時は、全員で守る。

ドリブルで突破するキープする

○南八王子0-4OSPレディース 前半0-1

お休みのため相手よりも一人少ない中で試合をすることになりました。そのため、4人でしっかりと走り、特に相手ボールになった時は、一人が奪いに行き他の選手はしっかりと戻って守備の陣形を整えることを要求して試合に臨みました。

結果は0-4の敗戦でしたが、ベンチのスタッフや保護者にとって、心に響くような素晴らしい試合だったと思います。それだけ、みんなの気持ちや必死さが見ている方にも伝わり、非常に見応えのあるゲームとなりました。

一人少ない中で全員がファイトしてたくさん走り、ゴールキーパーを務めた三原さんの活躍も光っていました。前半は、先制点が奪取できそうな星野さんや平山さん、鈴木さんの惜しいシュートが何本もありましたが、相手にボールを獲られたところに上手くかわされて9分に失点してしまいます。それでも、あきらめずに得点を目指してボールを奪いに行く、しっかりと戻ることを持続したのと攻撃でもシュートに持ち込めた所もあって後半も期待がもてる内容でした。特に上下動を繰り返した鈴木さんは、持ち前のスタミナを発揮してくれました。

後半が始まって前半にできたことを継続して集中してプレイします。後半にフィールドでプレイした三原さんは、機を見て突進してシュートを打つ寸前まで持ち込むなど何度かチャンスもあり、後半のキーパー星野さんは、よく守ってくれましたが4人で頑張っていたところに疲れと集中力が切れ始めて自陣地内での防戦が多くなります。そのため、6分に失点すると、8分、11分に失点してしまいました。



4失点してしまいましたが、終わった時には、みんなの頑張りが心に残るとても良いゲームだったと思います。今回は、相手より一人少ない人数だったため、気持的に気合が入って普段より、たくさん走れたのかも知れませんが、次の試合でも同じようにみんなの頑張りをプレイで表現できれば絶対に結果（勝ち）がついてくると信じています。あとは、慌てずにしっかりとボールをキープできるように試合の中でしっかりとチャレンジしよう。

帰り際に審判を務めていただいた方に「少ない人数でもピンチには、しっかりと戻れるすごくいいチームですね」と声をかけられました。みんな自信をもって次の試合に臨みましょう。

b y 原コーチ



来年度の少女の活動

今年も南の少女達は仲良く、楽しそうに練習し、試合をしていましたが、来年度の少女は平山コーチ(南OB)が主になってさらに楽しく指導してくれることと思います。

男子と一緒にプレーしながら、八王子の少女の大会・その他招待試合には少女として参加していきます。南少女招待もあります。

女子Wカップで最優秀選手に輝き、バロンドール賞も受賞した澤穂希さんは府ロクで男子と一緒にプレーしていて技を磨きました。

関前南出身の岩渕真奈選手も男子に混じってドリブルの技を徹底的に鍛えたのです。少女のみなさんにもその可能性が大いにあります。男子とのサッカーも楽しめたらいいですね。

b y 南のアンパンマン WC対ドイツ戦 岩渕真奈選手



「北の国から」「風のガーデン」の作者・劇作家・演出家

倉元 聡さん作・演出の「走る」の全国ツアーが始まります。

矢上は一昨年・昨年と倉本 聡さん作・演出の演劇を鑑賞していますが、今年も2月2日(木)サンシャイン劇場で「走る」を鑑賞します。

以下はその倉本さんが話されていることです。「走る」のテーマ、倉本さんの一貫した問題意識が投影されている言葉です。

「日本人は戦後0からの復興ということで走り出したわけですね。最初のゴールは『三種の神器』(テレビ・洗濯機・冷蔵庫)。通り過ぎると次のゴール。ゴールのないマラソンなんて走ったら、人間は心臓麻痺を起こして死んじゃいますよね。哲学が欠けていたと思います」

「『哲学のない走り』『無反省な進歩』の行き着く先に、なにがあったのか。

その象徴的なできごとが、3・11の原発事故です」

「大きな事故が起こってしまったのに、原発をつくった人、運用した人、それで稼いでいる人たちは裁かれない。使用済み核燃料の問題も解消していないのに再稼働を進め、外国に輸出しようとしています。この責任、誰が取るんですか」

倉本さんの言葉を紹介した意図の一つは以下の矢上の文章に表しています。

たくましく生きる力

サッカーの名手は、試合中常に4つの力を駆使しています。

①遠く広く周囲を観て、状況を的確に判断する力 ②状況判断をしたら何を為すべきか選択する力 ③選択したことを勇気をもって実行する力 ④実行したことがよかったかどうか反省し次の場面にフィードバックする力の4つです。

この4つの力は、生きる力そのものです。一生懸命たくましく生きている人間なら誰もが発揮している力です。サッカーを楽しむ中で『選択アイデンティティ』『4つの力=たくましく生きる力』をどの子にも育んでもらいましょう。

遠く広く学ぶ子に

人は時空を超えて遠く広く学ぶことによって、よりの確な判断・選択ができるようになるのです。昔の人の考えを知る、外国の文化に学ぶ等、タイムマシーンがなくても、外国に行かなくてもできます。読書をしているでしょうか。遠く広く観ることが名手への基本であるように、遠く広く学ぶ読書は素敵な人生を歩む基を豊かなものにしてくれます。本と一緒に読んであげてください。

b y 矢上

